

## 第1学年 生活科 学習指導案

1 単元名 あきとなかよし～いろいろなあそびができるね～

2 単元について

本単元は、生活科の内容（5）（6）と関わるものである。

（5）身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

（6）身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

特に単元を通して、重視したい内容は（6）である。また、内容についても、関わり深いのでどちらも単元を通して指導できるようにしていく。

<児童の思いと教師の願い>

本学級の児童は、幼稚園や保育園で秋の自然物を使って遊んだ経験のある児童が半数いた。しかし、半数の児童は秋の自然物を使った遊びをしたことがないと答えた。これは秋の自然物としてどんぐりやまつぼっくりをこまやけん玉にして遊んだということに気付いていないだけで同じ幼稚園や保育園で作ったり、遊んだりしたと言う児童もいたので半数以上が経験していると考えられる。また昨年、年長児の際には、小学校に招待してもらい秋いっぱいワクワクランドで体験している児童もクラスに半数ほどいた。

「いきものとなかよし」では、校庭の草むらで捕まえたバッタやカマキリを虫かごに入れて観察したり、四葉のクローバーや花を摘んで鑑賞したりと、身近な生き物や自然に関心の高い児童も多い。また、通学路や校庭で見つけた草花を教師や友達に伝えようとする姿も見られる。しかし、自分の思いを教師には伝えようとする気持ちが強い、反面、友達と関わり合ったり、教え合ったりするというクラスの中で広めたいという姿はあまり見られない。なので、教師が児童同士関わりあう場を作らないと深まっていけない傾向がある。

このような児童の実態から、自分が見つけた秋のおもちゃの楽しみ方を友達に教え合ったり、友達と関わり合ったり、自然を利用して遊ぶことの面白さや自然の不思議さに気付いてほしいと考える。また、気付いたことを友達に伝えるような表現活動（つぶやきひろめタイム）を毎時間、意図的に設定することで友達と伝え合うことのよさや楽しさを味わえるようにしていきたい。考えを聞いたり伝えたりする機会を積み重ねることで表現の仕方が豊かになっていくのではないかと考える。

この単元では、校庭や学校の周りで、木の実や落ち葉などで十分に遊びながら「秋」にどっぷりと浸り、おもちゃや飾りなどを作っていく。そこから、秋を楽しみながら、工夫して創り出した遊びの楽しさ、遊びに浸りきる心地よさを味わえるようにすることを目指す。そこで、まずは身近にある秋に目を向け、繰り返し関われるような校庭や近くの公園などで秋探しの活動を工夫して行っていきたい。何度か活動する中で、どこに木の実や落ち葉があるかなど分かったところでその自然物を拾った場所で直接遊ぶ体験をさせ、体全体を使って秋を十分に味わえるようにしていく。そして、作ったおもちゃや飾りなどを学校に持って帰り、作るものをさらに工夫したり、遊び方を工夫したりして、児童の思いや願いを実現していきたい。

単元の終わりには、自分たちが作ったおもちゃや遊び場を教えたい、一緒に遊びたいという思いが高まっていくと考えられる。去年の1年生に秋遊びを教わった児童が多くいるため、自分たちも年長児に教えたいという思いをもつ子が出てくることが予想される。その気持ちの高まりを生かし、自分たちの卒園した幼稚園や保育園の年長児を招待する。年長児に教えることができたり、一緒に遊んだりすることができたという満足感や達成感から、できるようになった自分の成長にも気付かせていきたい。

### 3 単元の目標

秋の自然に浸り、秋の自然物を使って作りたいものを作ったり、遊び方を工夫したりする活動を通して、季節の変化や自然と関わって遊ぶ楽しさに気づき、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

### 4 単元の評価規準

| ＜内容のまとめ＞（５）（６）  |   |  |
|---|---|--|
| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                                    |
| ○諸感覚を働かせて、自然の様子や四季の変化、季節によって自分たちの生活が変わってくることに気付いている。  | ○自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることについて考え、関わっている方法を工夫しようとしている。 | ○身近な自然に関心をもち、それらと関わる活動を通して、自然を生かした遊びや生活を楽しくしている。 |
| ○秋の自然を使って遊べた面白さや、自然の不思議さを感じ取り、自分や、一緒に遊んだ友達のよさに気付いている。 | ○落ち葉や木の実などの遊びに使う物を使って、遊びや遊びに使う物を工夫しようとしている。               | ○自然に自ら働きかけ、友達と楽しみながら遊びを創り出そうとしている。               |

### 5 研究の視点（生活科部会研究計画より）

視点1 自校の実態を見直し、低学年の身近な「ひとものこと」と体全体で関わる具体的な体験や活動を通す単元開発を積極的に行う。

#### ○子供の思考をつなげる多様な学習活動の工夫

小単元1では、校庭や公園にある秋を見付けに行く体験を重視する。校庭探検と公園探検を学習の中で関連付けて、「校庭」の次に「公園」に行く。この活動中には、諸感覚を使って秋を楽しむことにより、子供は自分の目で発見する喜びを味わえると考え。これは秋との関わりが深まり、そのものの価値に気付くことができるような見付ける力がついていくことで気づきが深まっていく。それらの気づきを言語化する活動の中で「ぼくのまつぼっくりは、ひらいているのに○○くんのは、ひらいてなかったけどなんでだろう。」と友達の見付けたものと比べてみたり、「昨日雨が降ったのが関係あるのかな。」といろいろな原因を関連付けながら考えたり、「開いたり、閉じたりできて傘みたいだね。」と例えたりと思考を働かせていこう。

小単元2, 3では、拾ってきた秋の実を使って遊んだり、遊ぶものや飾ったりするものなどの制作活動をする。活動の中では、自分の思いや願いを膨らませながら作りたいものを決めて、試行錯誤しながら活動に没頭していくと考える。作っていくうちに「ぼくのどんぐりゴマはよく回るんだよ。」とこだわりをもっていく。そのことを生かして、本時ではさらに子供がもっとやりたいと夢中になる素材で遊べるおもちゃを作って遊ぶ活動を繰り返す。同じ素材を使うことで友達とも競い合ったり、教え合ったりと自然と交流も生まれるだろう。そのための材料コーナーや遊ぼうコーナーを設置し、活動の環境を整えることで、「作る、比べる、繰り返す、見直す、試す、工夫する」活動ができるようにしていきたい。また、夢中になる素材だからこそ問題意識も生まれ、見通しをもちながら「もっと回るこまが作りたくないな。」「まつぼっくりをつなげている毛糸を長くして難しいけんだまを作りたくないな。」などこれまで学習してきたことを生かしながら自分の作りたいものを作り、友達と関わる中で思考を働かせ、新たな気づきを生み出していくことで気づきの質を高めていきたい。

### ○一人一人の気づきを広め、深める「学び合い」の工夫

活動の中で、子供たちは、試行錯誤を繰り返しながら、秋の活動に夢中になることで「～を見つけた。」「～ができなくて困ったよ。」などの気づきをもつ。その一人一人の気づきは直感的なものであったりするので気づきに対しても無意識であったりすると考える。そこで、体験後にはその気づきを友達と交流し、共有する場を設定していく。交流する時には、1年生という発達段階を考えて友達の話を比べながら聞くことを第一に、何を話しているのか分かったうえで反応できるように普段の学びから言語活動を繰り返し行っていき、子供同士が関わられるようにしていきたい。また、友達の話を聞いて「～すればできそうだな。」「○○くんから教わってうまかったよ。」などのように、一人では気づけなかったことやできなかったことなども友達と協力し合ったり、学び合うことで新たな気づきが生まれたり、自分との関係や対象同士の関連に気付いたりして、一人一人の学びの質を高めることができるだろうと考える。

活動していく中で感じ取ったことを素直に言葉で表現できるようにするために、表現の場を意図的に設定する。また、友達との交流の仕方を学んだり、伝えたいことを自分の言葉で話したりすることができるようにするために、「つぶやきひろめタイム」を設定し、よりよく表現できるような活動を積み重ねていく。

「つぶやきひろめタイム」では、子供が学習中に気付いたことや感じたことなどのつぶやきを教師が全体で紹介したり、近くの友達に伝えたりする。一人一人の気づきの質を高め、皆で学習を学び合うような活動にしていきたい。

## 視点3 主体的に学ぶことができる生活科の学習活動の工夫をする。

### ○子供同士が自然と関わられるような場の工夫

秋の自然を生かして自分がやりたい遊びを楽しむ場面では、遊びごとにコーナーを分け、同じ遊びをしている児童同士で関わられるような場の設定をする。そうすることで、周りの友達が遊んでいる場面に触れることで、「○○君のどんぐりはぼくのもっているものと大きさや形が違うな。」と秋の自然の違いや特徴に気付いたり、「大きさや形を変えたらどんぐりゴマの回り方は変わるのかな。」と次に試してみたい遊びのアイデアが生まれたりする。このように、同じ思いや願いをもった児童同士が同じ場で活動することで、秋の自然の違いや特徴に合わせて遊び方が広がり、自分が思いついた遊び方を教え合うなど自然に対話が深まっていくと考える。

### ○子供の思いや願いを実現する体験活動の工夫

春、夏と学校探検や校庭探検を経験してきて、子供たちは、秋での探検を楽しみにしている。また、子供たちは、自然や虫や草花などの生き物に興味をもっているため、四季の変化に気づき、季節のよさを実感していくことが期待できる。そこで、一人一人に諸感覚を使って秋を楽しむ活動を十分に味わわせ、その子なりの秋の感じ取り方を大切にすることで、思いが深まり、秋のよさに気付くことができると考える。そのために、小単元1では、春や夏に行った校庭探検の様子を思い出しながら地域の公園に探検しに行く。そのことで春から夏の頃とは違う自然の様子に気付いたり、秋ならではの遊びを見付けたりすることができる。また、探検中に落ち葉や木の実などを使って遊ぶことが予想されるので、あらかじめ必要と予想される道具や材料をもって探検し、必要に応じていつでも使えるようにし、活動を広げていきたい。小単元2では、秋の自然を使って遊んだり、作ったりするのに必要な材料を集めるために目的をもって二度目の公園探検に行く。繰り返し、探検することで「もっと見付けたい」「もっと集めたい」など意欲の高まりが見られ主体的に活動することができる。また、拾ってきた

材料を使って自分の作りたいものを工夫しながら作る活動を通して、子供の思いや願いを実現させていく。小単元3では、「秋のたからものランド」で作ったおもちゃで友達に遊んでもらったり、友達と競争したりする中で、もっと楽しく遊べるように、作り方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむことができるようにしていきたい。

このように小単元ごとに子供の思いや願いに沿った体験活動を充実させることで学習意欲が高まり主体的に学ぶことができると思う。

## 6 本単元の位置づけ

| 月      | 単元名 学習活動 ( ) 内容 ○時数 ☆本単元  |  |
|--------|---|--|
| 4      | <p>スタートカリキュラム みんななかよし⑫ (1) (4)</p> <p>○活動を通して学校のことを知り、安心感をもつとともに、小学生になったことを実感する。</p> <p>○新しい友達や先生、上級生と関わって遊び、学校生活に親しみをもつ。</p> |  |
| 5<br>6 | <p>がっこうにくるみち かえるみち⑥ (4) (5)</p> <p>○通学路の様子に関心をもって安全に気を付けて登下校する。</p> <p>○公園でルールを守って友達と楽しく遊ぶ</p>                                | <p>はなや やさいと<br/>なかよし⑬ (7)</p> <p>○アサガオなどの栽培活動に取り組む。</p> <p>○アサガオなどの成長の様子を観察する。</p> <p>○サツマイモの栽培活動に取り組み、収穫する。</p> |
| 7<br>8 | <p>なつとなかよし⑩ (5) (6)</p> <p>○身の回りの花や葉を使った遊びを楽しむ。</p> <p>○砂遊び、水遊びなどの夏の遊びを工夫して楽しむ。</p>   |  |
| 9      | <p>いきものとなかよし⑧ (5) (7)</p> <p>○見つけた虫と遊んだりして、秋の虫に親しむ。</p> <p>○見つけた虫をしばらくの間飼育しながら、秋の虫の面白さや不思議さを見付ける。</p>                         |  |
| 10     | <p>あきとなかよし⑭ (5) (6) ☆本単元</p> <p>○校庭や公園で秋を探す。</p>  | <p>○秋に植える植物の栽培活動に取り組む。</p> <p>○パンジーやビオラの成長の様子を観察する。</p>  |
| 11     | <p>○秋の虫に親しむ。</p> <p>○秋のものを使った遊びを考え、楽しく遊ぶ。</p> <p>○見つけた楽しさを家族や地域の園児たちに伝える。</p> <p>○秋の楽しかった思い出を振り返る。</p>                        |  |

|     |  |   |
|-----|--|---|
| 1 2 | ふゆとなかよし⑬ (5) (6)<br>○校庭や公園で冬を探す。<br>○新年を迎える準備をする。<br>○霜、氷、風など、楽しく遊ぶ。<br>○いろいろあるね、にほんのあそび。昔遊びに親しむ。<br>○かぞくはなかよし。家族が笑顔になる場面を考える。 | もうすぐ2年生⑧<br>(5) (9) (8)<br>○お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える。<br>○新1年生のために自分たちができることを考える。<br>○新1年生を迎える準備をする。 |
| 1   |  |   |
| 2   |  |   |
| 3   |  |   |

## 7 単元構想

<児童の思いや願い>

あきと ふれあおう

|                        |                          |                     |                       |
|------------------------|--------------------------|---------------------|-----------------------|
| 校庭にどんぐりやまつぼっくりがおちているよ。 | 秋の自然物を使って何か遊ぶことはできないかなあ。 | 楽しかったから誰かに教えてあげたいな。 | 秋には、楽しかった思い出がいっぱいあるよ。 |
|------------------------|--------------------------|---------------------|-----------------------|

| 主な学習内容と活動  | 他教科との関連  |
|--|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">あきを みつけよう</div> <p>○自分がやってみて楽しかったことを友達と紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校で見つけた秋について話し合う。</li> <li>・真砂第一公園に行き、秋を感じながら遊ぶ。</li> <li>・活動を振り返り、発見カードに書く。</li> </ul> <p>《期待する姿》</p> <p>「はっぱが茶色になって、落ち葉がふえたよ。」</p> <p>「草や木の実で遊ぶと、楽しいな。」</p> <p>「秋の自然を使って、もっとあそんでみたいな。」</p> <p>《手立て》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードに書いていることや発表したことを取り上げて友達や自分の良さに気付かせ、自身や満足感をもたせるようにする。</li> </ul> | <p>&lt;国語&gt;</p> <p>「きいて しらせよう」</p> <p>友達がいまいちばん楽しいことをきいて、みんなに知らせる。</p> <p>「せつめいする文しようをかこう」</p> <p>事柄の順序に沿って文しようを書く。</p> <p>&lt;図工&gt;</p> <p>「ならべて ならべて」</p> <p>身の回りにある材料を使って、並べたり積んだりする。</p> <p>「うつした かたちから」</p> <p>写したものの形や色から</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">みつけたあきで つくったりあそんだりしよう</div> <p>○秋の自然物を使って、もっと楽しく遊ぶためにおもちゃを工夫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真砂第一公園に行き、秋を感じながら遊ぶ。</li> <li>・集めてきた秋の自然物を使って、作ってみたいものを発表しあう。</li> </ul>   |  |

・秋の自然物を使って、もっと遊べる物を工夫して遊ぶ。

《期待する姿》

「どんぐりでこまをつくってみたいな。」

「つくったおもちゃでたくさん遊びたいな。」

「もっと楽しく遊ぶにはどうすればいいかな。」

《手立て》

- ・集めて作りたい物がわかるように、写真や本をあらかじめ置いて秋コーナーをつくり、活動の見通しがもてるようにする。
- ・材料や道具は安全な使い方ができるよう、事前指導しておく。

「秋のたからものランド」に しょうたいしよう

○年長児を「秋のたからものランド」に招待しよう。

- ・年長児を招待して「秋のたからものランド」で遊ぶ計画を立てる。
- ・年長児と「秋のたからものランド」で遊ぶ準備をする。
- ・年長児を招待して「秋のたからものランド」で遊ぶ

《期待する姿》

「どうしたら年長児がよろこんでくれるかな。」

「年長児とうまく関わることができてよかったな。」

《手立て》

- ・みんなが作ったものを使って遊べるような場を工夫したり、楽しそうに遊んでいた友達の発表を聞いたりしてイメージをもたせる。
- ・どの子供にも自分の役割があるようにする。また、相手の立場になって、遊びの準備を進めることを意識させる。

あきのおもいで いっぱい

○自分の表現した秋をカードに書いて紹介する。

- ・秋の思い出を振り返り、発表しあう。
- ・自分の秋の思い出をファイルに整理したり、飾ったりする。

《期待する姿》

「秋のおもちゃを作って、たくさん遊んで楽しかったな。」

「秋のたからものランドうまく行ってよかったな。」

《手立て》

- ・今まで書きためてきたカードを見て、思い出を振り返られるようにする。
- ・自分の秋を振り返り、一人一人の思い出を作品や言葉に生かし、表現するよう声をかける。

表したいことを見つけ、楽しく絵に表す。

「でこぼこ はっけん」身の回りがあるでこぼこを見つけ、粘土に写す。

＜道徳＞

「こぼれた おちゃ」みんなが使う場所や物を大切にしようとする。

＜道徳＞

「はしのうえのおおかみ」

身近にいる人に親切にしようとする心情を育てる

8 単元の流れと評価 (全27時間)

| 小単元名   | ◎学習内容 (時数)  | ・評価の視点   | ○手立て   |
|--|---|--|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">あきをみつけよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">みつけたあきでつくったりあそんだりしよう</div> | <p>◎登下校で見つけた秋について知らせあう。(1)</p> <p>◎校庭で秋見付けをする。(2)<br/>(家庭などで、落ち葉や木の実などを集める。)(常時)</p> <p>◎真砂第一公園に行ってどんな秋が見付けられるか計画を立てる。(1)</p> <p>◎真砂第一公園に行き、秋を感じながらたくさん自然物に触れる。(2)</p> <p>◎自分がやってみて楽しかったことを友達と紹介しあう。(1)</p> <p>◎活動を振り返り、発見カードに書く。(1)</p> <p>◎もっとしてみたいことを考え、作ってみたいおもちゃを考え、発表する。(2)</p> <p>◎真砂第一公園に行き自分がやってみたい遊びを楽しんだり、その場で秋の自然物を使っておもちゃを作ったりする。自然物を集める。(2)</p> <p>◎集めてきた秋の自然物を使って、作ってみたいものを発表しあう。(1)</p> <p>◎秋の自然物を使って、もっと遊べる物を工夫して遊ぶ。</p> <p><b>(本時2/2) + (図工2)</b></p> | <p>・進んで秋のものを見付けようとしている。【主】</p> <p>・季節の変化や秋の様子に気付いている。【知・技】</p> <p>・秋の草花や、木の葉や木の実を使って、工夫して遊ぶと楽しいことに気付いている。 【知・技】</p> <p>・見つけた秋を絵や文にかき表すことができる。 【思・判・表】</p> <p>・作りたいものを決めて秋集めをし、自分の見つけた秋を進んで伝えようとしている。 【主】</p> <p>・季節に合った遊びや活動をすると、生活が楽しくなることに気付いている。【知・技】</p> <p>・秋の自然物を使って、自然や季節に関わる楽しみ方を、自分なりに工夫しようとしている。 【思・判・表】</p> | <p>○登下校中に見つけた秋やこれまで経験したことのある秋にまつわることを話し合えるように、教科書の「あきごよみ」をきっかけにする。</p> <p>○一人が見つけた秋をみんなに紹介するなどして秋を増やし広めるようにする。</p> <p>○公園内での危険箇所を事前に確認し、安全に気を付けて活動できるようにする。</p> <p>○虫に刺されないように服装に気を付けるよう事前に家庭に連絡しておく。</p> <p>○カードに書いていることや発表したことを取り上げて友達や自分の良さに気付かせ、自身や満足感をもたせるようにする。</p> <p>○前時で楽しかったことや友達が紹介したことでもっとやりたくなったことを話せるよう活動の様子を掲示する。</p> <p>○自然の中で、落ち葉や木の実を加工してその場で簡単なものを作るように道具袋を用意する。</p> <p>○集めて作りたい物がわかるように、写真や本をあらかじめ置いて秋コーナーをつくり、活動の見通しがもてるように</p> |

◎自分たちが作ったおもちゃや遊び場で遊ぶ（２）

◎楽しかった秋の遊びについて振り返り、発見カードに書いて友達に紹介する。（１）

◎年長児を招待して「秋のたからものランド」で遊ぶ計画を立てる。（１）

◎年長児と「秋のたからものランド」で遊ぶ準備をする。（２）

◎年長児を招待して「秋のたからものランド」で遊ぶ。（２）

◎「秋のたからものランド」を振り返る。（１）

・進んで自然を楽しんだり、その楽しさを伝えたりしようとしている。  
【主】

・自分やクラスの友達で作ったもののよさやがんばりに気付いている。  
【知・技】

・年長児が楽しく過ごせるように、繰り返し試しながら、ルールを変えたり、遊ぶものを工夫したりしている。  
【思・判・表】

・友達と協力して、年長児と進んで関わり楽しもうとしている。  
【主】

する。  
○教師も一緒に自分の作品を作り、子供の活動に刺激を与えたり、子供の気持ちを見とったりする。

○材料や道具は安全な使い方ができるよう、何に使うのか表示し、事前指導しておく。

○みんなが作ったものを使って遊べるような場を工夫したり、楽しそうに遊んでいた友達の発表を聞いたりしてイメージをもたせる。

○近隣の幼稚園や保育園と連携をとり、事前に打ち合わせをし、児童や園児の実態について共通理解を図る。

○自分たちが作ったものを生かしたコーナーにするよう助言する。

○どの子供にも自分の役割があるようにする。また、相手の立場になって、遊びの準備を進めることを意識させる。

○年長児との関わりで工夫したことや、うまくいったことなどを称賛し、「できた」という自信をもたせるようにする。

|                 |  |   |  |
|-----------------|--|---|--|
| あきのおもいで<br>いっぱい | <p>◎秋の思い出を振り返り、発表しあう。(1)</p> <p>◎自分の秋の思い出をファイルに整理したり、飾ったりする。(1)</p> <p>◎自分の表現した秋をカードに書いて紹介する。(1)</p> | <p>・秋の楽しかった思い出を進んで伝えようとしている。</p> <p style="text-align: center;">【主】</p> <p>・秋の楽しかった思い出を自分の作品や言葉で表現しようとしている。</p> <p style="text-align: center;">【思・判・表】</p> <p>・秋の自然物を使って、楽しむことのできた自分に気付いている。</p> <p style="text-align: center;">【知・技】</p> | <p>○今まで書きためてきたカードを見て、思い出を振り返られるようにする。</p> <p>○自分の秋を振り返り、一人一人の思い出を作品や言葉に生かし、表現するよう声をかける。</p> <p>○自分が作った作品を活用させ話すときに役立てられるようにする。</p> |
|-----------------|--|---|--|

## 9 本時の指導

### (1) 目標

秋の自然物を使って、遊ぶものを工夫して作ったり遊んだりする活動を通して、身の回りの自然物を使った遊びの楽しみ方を工夫することができる。

### (2) 展開 (14/27)

| 時間  | 学習活動と内容   | 教師の働きかけ (○) 評価 (☆)   |
|---|---|--|
| 7分  | <p>1 前時までの振り返りをし、本時の課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりゴマの持つところが長かったから短くしてよく回るコマを作りたいな。</li> <li>・おなもみを当てる的に点数をつけて競争したいな。</li> <li>・葉っぱにつける磁石の大きさを変えたいな。</li> <li>・もう少し難しいけん玉を作りたいな。</li> </ul> | <p>○前時の様子を思い出せるように、写真を提示したり、前の板書の内容を紹介したりする。</p> <p>○自分がやりたいことの見通しがもてるように学習カードを見るよう声をかけるようにする。</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">もっと楽しいおもちゃになるように工夫して作ったり遊んだりしよう</div> |   |  |
| 3分  | <p>2 作ったり遊んだりするときの約束を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に気を付け、製作したり、遊んだりする。</li> <li>・工夫して楽しいことを見つけたら友達に教えてあげたり、声をかけあったりして遊ぶようにする。</li> </ul>  | <p>○道具の使い方や約束を確認したり、遊んだり作ったりするときの約束を確認し、児童が安全に活動に取り組めるようにする。</p>                                   |
| 25分   | <p>3 遊ぶものを工夫して作ったり遊んだりする。</p> <p>※遊びの内容は、子供の思いや願いで変更しま</p>  | <p>○同じ思いや願いをもった児童同士が同じ場で活動できるようにすることで、</p>   |

す。

### どんぐりごまグループ

～予想される子供のつぶやき～

- ・もつところが曲がっているとよく回らないからまっすぐさしたいな。
- ・友達に相談したら穴をあけるとときに真ん中になるようにペンで印をつけるといいと教わったよ。

- ・ようじの部分をつまんでひねるように回すと良く回るよ。
- ・友達とどちらが長く回るか競争すると楽しいよ。

### まつぼっくりけんだまグループ

～予想される子供のつぶやき～

- ・すぐにまつぼっくりが入っちゃうなあ。どうしたらおもしろくなるかな。
- ・友達が「入れる容器の大きさを変えたら」といっていたから、小さくしたら難しくなったよ。
- ・昔遊びのけん玉と一緒に膝を曲げてやると入りやすいよ。
- ・まつぼっくりにつけるひもを長くすると入りづらくて難しくなるから楽しいよ。

### はっぱつりグループ

～予想される子供のつぶやき～

- ・磁石がくっつくところとくっつかないところがあるね。
- ・〇〇君が磁石の大きさや釣り糸の長さを変えると楽しいと教えてくれたよ。
- ・磁石を強いものにするとうちに釣れちゃうから、こしくっつきにくいものを使うと面白いよ。

児童同士が交流できるようにする。

- 材料コーナーを作り、活動する場所と材料コーナーの行き来がいつでもできるようにする。
- 子供たちの願いや思いが実現できるように、各コーナーごとに必要な材料を事前に聞き出しておき、自分で選びながら作れるように準備しておく。
- 制作のヒントになる掲示物や本をアドバイスコーナーに用意し、子供たちが困ったときにいつでも参考にできるようにする。
- 各コーナーを回り、子供たちのつぶやきや気づきがあれば共感や称賛をし、意欲が高まるようにする。

- おもちゃ作りの際に困っている児童に対しては、うまくいった友達や教師に相談するように声をかける。

- おもちゃが完成した子には、友達のおもちゃと比べたり競争してみたりするように伝える。

☆秋の自然物を使って、自然や季節に関わる楽しみ方を自分なりに工夫しようとしている。(思考・判断・表現)

- 見付けたことや工夫したことを発表させることによって、気づきを広めるようにする。

- 伝え合う活動の中で、より分かりやすく伝えられるよう、実際に実演させながら発表できるよう促す。

- 気づきを共有するために、友達が見付けたことをみんなで確かめたり、見直したりするように助言する。

|            |   |   |
|------------|---|---|
|            | <p>おなもみダーツグループ</p> <p>～予想される子供のつぶやき～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・距離が近いと簡単だから、少し遠くにすると面白いよ。</li> <li>・友達と投げ合って、どちらが点数が高いかを競争すると楽しいよ。</li> <li>・思いっきり強く投げすぎるとつかないことが結構あったよ。</li> <li>・友達と点数で競って、勝ったら嬉しかったよ。</li> </ul>  | <p>○粘り強く取り組んだ姿や子供の気付きに対しては、失敗したとしても称賛し、自信を持たせるようにする。</p>  |
| <p>10分</p> | <p>もっとともだちとたのしくあそべるようなあそびばをつくりたいな。</p> <p>4 「つぶやきひろめタイム」を行い、子供のつぶやきや気付いたことを共有する。</p> <p>～つぶやきひろめタイム～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 活動中に子供たちがつぶやいたことを全体の前で教師が紹介する。</li> <li>② 活動して気付いたことや友達におそわったことなどを発表する。</li> <li>③ 次の活動でやってみたいことを話す。</li> </ol> <p>5 後片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りを片付ける。</li> </ul> | <p>○活動の中で楽しそうに遊んでいる子供や、遊ぶものを工夫している子供を事前に見取っておき、みんなの前で紹介する。</p> <p>○コマ回しなどの小さくて見づらいものは、タブレットで映してテレビでも見られるようにする。</p> <p>○活動を通して気付いたことや考えたことを共有する。</p> <p>○次にどんな活動をしてみたいかを考えさせ、次時につなげる。</p> <p>○自分たちが使ったものの片付け、落ちているごみを拾って捨てる。</p> |

活動の場

